

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」備前三門校		
○保護者評価実施期間	2024年 10月21日		2024年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2024年10月21日		2024年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	近隣の企業とのコラボイベントにより、地域資源としての役割を意識して運営できていること。	日々の療育とは違う雰囲気でのイベントを実施することで、きらりはより楽しいところと思ってもらえるような時間を意図的に作るようにしている。	今までコラボしていなかった企業とも交流をしていき、子どもたちの豊富な経験の一助になれるようにする。
2	居宅訪問や関係機関連携を充実させており、保護者とのつながりを密に取ることができること。	保護者からの要望があれば、幼稚園や保育園、小学校への訪問を定期的に連携させていただいている。多面的に子どもたちの実態をとらえられるように意識している。	保護者の中には、こういった制度がある事をまだ知らない方もおられるので、周知活動を充実していく。
3	傾聴を意識した子どもたちとの関わりをしているため、子どもたちの居場所づくり貢献できているということ	職員一人一人が子どもたちを受容的にとらえられるように、普段から子供たちができるようになったことや成長していることを話題にしている。	自分たちだけの視点ではなく、他校舎や専門家からの助言をいただき、より広い視野で子どもたちをとらえられるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	校舎がせまいこと	パーティションなどを少なくして、圧迫感を軽減する必要がある。もう少し広いところへの移転も視野に入れる必要がある。	狭い環境の中で、できることを工夫して取り組んでいる。ダイナミックな活動がしたい時は、近隣の公園まで足を運んでいる。
2	いわゆるリハビリ職(PT・OT・ST)がないことで、動作や訓練的な視点が弱くなること	事業所単体ではどうしようもないので、きらりのグループとして相互に連携して課題解決に向かっている。	他校舎のリハビリ職に意見を求めることで解決している。また、経歴が長い職員もいるので、豊富な知識で補っている。
3	事業所間の連携が少ない	事業所間での連携をしてきた文化が少ないので、まずはきっかけづくりをするところから始まる。	担当者会議などを定期的に開催し、きらりが得ている保護者のニーズや学校などの連携先の情報を他事業所とも共有する機会を今後は増やしていきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」備前三門校
------	---------------------

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 18世帯

回収数 15世帯

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	1	2	0	もう少し運動できる場所があるといいと思う。	スペースを有効に活用して支援させていただきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1	0	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	2	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1	1	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	0	0	0	支援者によって違う。 統一性がない。	個別支援計画に沿って支援は提供しておりますが、アプローチ方法は支援者によって異なります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	2	0	1		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	1	1	3	お祭りイベントが好きなので、またあると嬉しいです。	ありがとうございます。来年度も企画させていただきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	2	1	2		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	15	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	0	2	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	1	1	1		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	2	0	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	0	1	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	1	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1	0	5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	0	0	3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	0	0	0	時間を長くしてほしい。90分。	きりりは60分の個別療育を基本にしております。子どもたちが集中して取り組める時間も長くはありませんので、ご理解いただければと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」備前三門校				公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	少し狭いとは思いますが、全指導員で協力して支援を提供しています。 フィードバック中にもう少し子どもたちに広々と遊ばせてあげたいと思うことはある。			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1		指導員の不足を感じることもあるので、人員を増やしていく必要がある。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	様々なことを考えながら日々取り組んでいます。 一部バリアフリーではない場所はあるが、必要とする利用者は在籍していない。生活空間は構造化された環境になっている。			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	子どもに合わせたサイズの机やイスを用意している。			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	別の部屋の利用は難しいときもあります。	職員の部屋を1つ空けるなどして、必要に応じて対応していきます。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎年実施できている。			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	職員同士が相談しやすい雰囲気や声掛けをしていただけ。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2				
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	定期的に研修がある。			
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0				
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	モニタリング等、一人一人丁寧に行われている。			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0				
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0				
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0				

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	個別支援を中心におこない、同時時間帯に利用者がいた時には、小集団活動も取り入れることがある。土曜日に小集団を実施することが多い。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	気になることがあれば、話し合いを実施している。チームで連携できている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	その都度、必要に応じて話し合いの場を設けている。意識してコミュニケーションが取れている。全職員で共有が難しい時には、個別で振り返りをして共有をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	支援記録を遅れることなく記入している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	モニタリング等、一人一人丁寧に行われている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		医療との連携はあまりとれていない。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	関係機関へ訪問するなど、情報共有と相互理解を図っている。担当者会議も参加している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	多くはないが、実施している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	フィードバックや事業所内相談などをおこない、日ごろから保護者と子どもの状況を伺ったり、お伝えしたりしている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		研修は提供できてはいないが、事業所内相談で保護者に伝えることはある。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	詳しく理解している職員がフォローしてくれている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	個別支援計画の作成前には、保護者のご意向を伺うモニタリングを実施させて頂いている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	個別支援計画の説明を行い、サインを頂いている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	事業所内相談や自宅訪問を利用し、相談に応じている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	キラカフェを行い、保護者同士の交流の場を設けている。	イベントを実施している。保護者同士はあまり話ができている時もあるので、機会をも受けていきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	ブログを月2回の頻度で更新し、インスタグラムも活用している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報の書類は必ずシュレッダーを活用している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	イベントを行う際は、地域の店にチラシを置いてもらったり、招待したりして、周知活動を行っている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	避難訓練を実施している。年2回は利用者さんと一緒に実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	避難訓練や防災グッズの確認など、定期的に行われている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	食べ物は提供していない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	どんな些細なことも見落とさずにヒヤリハットを作成し、再発防止に努めている。職員に周知している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	研修を受けている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0		